

(様式 1)

「絆の作り手育成プログラム研究指定校」実績報告書（2年次）

1 学校名等

学 校 名	宮津市立府中小学校							校長名	山本 淑子	
所 在 地	〒629-2232 京都府宮津市字中野468 電話 0772-27-0027 FAX 0772-27-1260									
学 年	1年	2年	3年	4年	5年	6年	特別	合 計	教職員数	
学 級 数	1	1	1	1	1	1	2	8	15	
児 童 数	13	13	13	8	14	12	6	79		
連 携 先 (文化財所有者等)	・成相寺 ・籠神社 ・溝尻漁港 ・中山間農家組合 ・丹後郷土資料館 ・丹後土木事務所 ・丹後海陸交通 ・天橋立府中観光会							※校長・教頭を含む		

2 研究校の概要

1 研究主題

ふるさとみやづを愛し、自ら学び、豊かに伝え合う児童の育成
～地域に貢献することを通して、人生をよりよく生きる力を付ける～

2 研究仮説

- (1)天橋立とそこに生きる人々の生活・産業から学び、歴史と伝統が息づく文化的景観を保護する取組を行うことで、天橋立のすばらしさを再発見し、児童の地域への愛を深めることができるのではないか。
- (2)課題解決型の学習を通して魅力ある地域づくりに貢献させることで、児童の自己肯定感を高め、積極的に挑戦していく意欲を高めるとともに、思考力・判断力・表現力を高めることができるのではないか。

府中小学校児童は、素直で明るく与えられた課題に対しては真面目に取り組もうとする。異年齢のつながりも強く、高学年が低学年の面倒を見たり、優しく指導したりすることが日常の活動の中に見られる。児童は地域の方に温かく見守られており、地域の方との交流も普段からしっかりできている。しかし、積極的に自ら課題を見つけて自分なりの答えを考えるなど自分から挑戦する意欲には弱さが感じられる。

そこで、本研究では「課題解決型の学習」の手法を利用し、自分で設定した課題をグループ等での主体的、対話的で深い学びを通して解決していく中で、思考力・判断力・表現力を付けていきたい。また、従来から「ふるさとみやづ学」に係って連携してきた団体と天橋立を中心とした府中の文化財及び文化的景観の「持続可能な保存」について考えることで学びを深め、さらに課題に対する解決策を実行・発信していくことにより、自ら学び、豊かに伝え合う力も付けていく。

府中地区の方との連携を図りながら、児童が自分のより良い生き方を探れるようにするとともに、認知能力と非認知能力を一体的に育成することを研究の目的としている。

3 主な研究活動【6年生】

(1) 6年生 単元名「府中の歴史探検隊」(総時間数 70 時間)

単元目標 文化財を調べることを通して、天橋立の文化的景観が自然と歴史的成り立ちの中で人々の生活とともに培われてきたことを知り、その素晴らしさを引き継ぐことの大切さに気づき、地域の活性化について考え、天橋立を中心とした文化的景観の魅力を発信しようとする。

ミッション: 天橋立を中心とした文化的景観の魅力をより多くの人に知ってもらうにはどうすればよいでしょうか。

(2) 小単元1 文化財の歴史や現状、文化財に関わる方の思いや願いを調査しよう

(25 時間) (4~6 月)

【課題の設定】 雪舟の「天橋立図」や「成相寺参詣曼荼羅」から、「府中」はかつて中心的な町だったことに気付く。

【情報の収集】 府中地域の文化財を見学し、文化財に関わる方に話を聞く。

【整理・分析】 調べて分かったことについて、思考ツール(ウェビング図)を使って整理し、現状や課題、目指すゴールについて明らかにする。

【まとめ・表現】 自分たちの学びを地域の高校生に伝え、文化財の歴史や現状、文化財に関わる方の思いや願いの理解を深める。



(3) 小単元2 文化的景観の魅力をより多くの人に知ってもらうために、自分たちにできることを考えよう(30 時間) (9~12 月)

【課題の設定】 天橋立の文化的景観の魅力を多くの人に知ってもらうために、課題解決に向けて見通しをもつ。

【情報の収集】 お寺や神社を見学したり文化財に関わる方にインタビューしたりして、文化財の魅力についての情報を集める。図書や ICT を使って文化財について調べる。

<府中ライトアップ>

全校に呼びかけ、「家型灯籠」を制作し、京都府立丹後郷土資料館で点灯式を行った。



【整理・分析】 どんな魅力を伝えるのか調べたことを思考ツール(ランキング表)を使って整理する。効果的に発信するための条件をしばる。(魅力が伝わり、インパクトのある方法は・ターゲットは誰か・実現可能か) 地域を活性化させる上での課題の解決策を思考ツール(ピラミッド)を使って考える。考えた取組をプレゼンター

ションするために、何をどういう方法で行うのか具体的に考える。

【検 証】今までお世話になった方に助言をいただき、自分たちの考えが実現可能か確かめる。その助言を踏まえ、発信内容や発信方法について再検討する。

【アウトプット】文化的景観としてより多くの人に知ってもらえるように、取組を実践する。
(リーフレット・観光ガイド等)

〇分かったこと

	観光客数(R3)	年齢層
天橋立	168万人	
丹後郷土資料館 国分寺跡	7,827人	7割が65歳以上
国分寺	50人	ほとんどが50代以上
成相寺	61,000人	60代・70代が多い
龍神社	50万人より少ない	幅広い



(4) 小单元3 子ども大使として地域の魅力を発信し、自分たちが住んでいる地域のよさについて考えよう(15時間)(1~3月)

【課題の設定】自分たちの活動を振り返り、まとめることを通して、府中地域のよさについて考えたことを発信する見通しをもつ。

【情報の収集】文化財に関わる方を対象に、課題解決に向けて実践してきたことを報告し、実践後の状況についての情報や意見をもらう。

【整理・分析】自身の地域に対する思いの変容や自己の成長を振り返る。

【まとめ・表現】課題解決に向けて実践してきたことや振り返ったことをまとめる。(パワーポイント・ワークシート等) まとめたことを保護者(地域住民)に伝える。

4 今年度の研究の成果と検証

- 現状や地域の方の想いや願いを調査して課題を発見し、自分たちの「こうありたい」という目標をもちながら活動することで、児童が主体的に課題を解決していくことができた。
- 地域の方と継続的な繋がりをもつことで、自分たちの活動が地域の方の願いと同じであることを感じ、学習の価値を実感しながら府中地域の良さについて自己の考えを広げ、地域に貢献していきたいという気持ちを高めることができた。
- 考えて終わりではなく、実践していくことで、児童の達成感や充実感、「もっとこうしよう」という次への意欲に繋がった。また、協働的に活動する中で、理由を明確にして話をしたり、納得ができるようにまとめたりする話し合いができることが増えた。

5 今年度の課題

- 課題に対して粘り強く取り組む力、伝える相手に応じて自分の考えを分かりやすく表現する力をはぐくんでいくために、学んだことをもとに、児童が「知りたい」「もっと深めたい」という想いをもち、相手や目的を明確にして表現することができるようにしていく。
- 他の教科との関連を図り、どの教科のどんな内容を生かしていくのか、総合的な学習の時間で培った力を他の教科でどのように活用・発揮していくのかを考え、汎用的な資質・能力の向上を図っていく。
- 意図的・計画的な実践にするために、付けたい力を明確にし、見通しをもちながら活動を

していく。

6 事業終了後の研究構想

次年度は、今年度の成果と課題を踏まえ、他教科との関連を更に図る。また、本校で取り組んできた図書館教育の研究と合わせて課題解決型の学習の手法を活用し、汎用的な資質・能力の向上を図る。

また、文化財の所有者と連携し、問いの設定をした上で、現状や地域の方の想いや願い、課題を地域の方と共有し、地域と継続的な繋がりをもつことを大切にしつつ、行動を伴う地域貢献にしていく。

学んできた府中の良さを学校や地域で発表することによって地域の魅力を発信する。また、ホームページなどを活用するなどより多くの方々に発信していく。

令和3・4・5年度「絆の作り手育成プログラム」研究指定校

令和4年度(2年次)

絆の作り手育成プログラム研究紀要

府中に生きる私たちが、今、できること
～天橋立を中心とした府中の文化的景観について～

天橋立の文化的景観を守ろう！

5年
天橋立と府中の産業

6年
天橋立と府中の歴史

3年
籠神社と天橋立の民話

4年
天橋立と環境問題

1年
天橋立の自然

2年
天橋立と生きる人



1 研究主題

ふるさとみやづを愛し、自ら学び、豊かに伝え合う児童の育成
～地域に貢献することを通して、人生をよりよく生きる力を付ける～

2 研究仮説

- (1)天橋立とそこに生きる人々の生活・産業から学び、歴史と伝統が息づく文化的景観を保護する取組を行うことで、天橋立のすばらしさを再発見し、児童の地域への愛を深めることができるのではないか。
- (2)課題解決型の学習を通して魅力ある地域づくりに貢献させることで、児童の自己肯定感を高め、積極的に挑戦していく意欲を高めるとともに、思考力・判断力・表現力を高めることができるのではないか。

研究内容と方法

- 天橋立とそこに生きる人々の生活・産業から学び、歴史と伝統が息づく文化的景観を保護する取組を行うことで、天橋立のすばらしさを再発見できるようにし、児童の地域への誇りをもたせる。
- 課題解決型の学習を通して魅力ある地域づくりに貢献させることで、児童の自己肯定感を高め、積極的に挑戦していく意欲を高めるとともに、思考力・判断力・表現力を高める。

各学年の研究内容

- 1年: 天橋立の自然の良さに気付く
- 2年: 天橋立とそこで生きる人々の良さに気付く
- 3年: 天橋立とそこで生きる人々の仕事や文化を見つめる。
- 4年: 天橋立の環境について調べ、良さと課題を発見する。
- 5年: 天橋立を中心とする産業の課題について解決策を考え、実行する。
- 6年: 天橋立の文化的景観を生かして生きる未来について考え、実行する。

気付き

発見

継承

発展

研究実践1年

生活科「自然いっぱい天橋立」

春は傘松公園から、天橋立の美しい景色を堪能しました。秋は阿蘇海から汽船に乗って、天橋立を眺めました。「海が光っている。」「松並木がずっと続いているね。」といろいろな見え方をする天橋立の自然の良さに気付き、友だちに伝えました。天橋立で拾った松ぼっくりやシーグラスで家族にプレゼントを作りました。



研究実践2年

生活科「すてき」大発見！！

府中で働く方々にインタビューをして分かった自分たちの町の「すてき」。保護者の方々や学校を訪れた方々に紹介できるよう「府中の町『すてき』マップ」にまとめました。活動を通して、より府中への理解や郷土愛が深まりました。



研究実践3年

総合「府中のステキを探ろう！」

天橋立の景観を楽しんだり、籠神社や成相山へ参拝したりすることを目的に、古くからこの地域は、多くの人々が訪れました。そのような地域の魅力を更に見付けるため、地域に残る伝説について調べ、紙芝居にまとめました。府中を大切にしたい思いを紙芝居を通して他校にも発信しました。



研究実践4年

総合「天橋立を守ろう！」

天橋立の景観は、地域の人々・団体の保全活動によって守られています。しかし、その参加人数は減少していることが分かり、保全活動の啓発に繋がる取組を考えました。下級生に天橋立の保全に関心をもってもらうために、調べたことを伝えたり、工作イベントを開いたりしました。また、多方面にも発信し、活動を続けていくことの大切さを伝えることができました。



研究実践5年

総合「府中の産業を守ろう！」

「成相寺参詣曼荼羅」に描かれている絵を見ると、漁業・観光業等、今も続いているものが多いことが分かりました。漁業に関わる方々は、魚を捕るだけでなく、将来も豊かな海が続くよう努力しておられました。農業に関わる方々は、地球にやさしい、安心安全な作物作りに取り組んでおられました。観光業に関わる方々は、観光客が減っている中、お客さんにたくさん来てもらう工夫をされていました。5年生は、この3つの産業がつながりあってこそ、府中の町は活性化すると考え、シールを作り、府中の魅力を伝えました。



研究実践6年

総合「天橋立の文化的景観を未来へ！」

「雪舟 天橋立図」には、天橋立ともに「国分寺」「成相寺」「大谷寺」「籠神社」など数多くの寺社が描かれています。天橋立は古くから多くの人々が往来する景勝地として、参詣・観光の拠点となってきました。平成26年3月には重要文化的景観にも選定されていますが、この景観は、自然と歴史的成り立ちの中で人々の生活とともに培われてきたものです。

そこで、天橋立の文化的景観の魅力をより多くの人に知ってもらうために、6年生がリーフレットを作り、魅力を伝えました。



単元シート

気持ちを高める

思考の質を
高める

活動の質を
高める

6年

総合的な
学習の時間

単元名 「府中の歴史探検隊」 (総時間数70時間)

単元目標

文化財を調べることを通して、天橋立の文化的景観が自然と歴史的成り立ちの中で人々の生活とともに培われてきたことを知り、その素晴らしさを引き継ぐことの大切さに気づき、地域の活性化について考え、天橋立を中心とした文化的景観の魅力を発信しようとする。

児童の実態

- ・意欲をもって取り組もうとするが、課題を最後までやりきることが難しい。
- ・積極的に発言するが、相手意識をもち、豊かに表現する力が弱い。
- ・友達との考えと自分の考えを関連付けて考えたり解決したりする力は十分ではない。

付けたい力

- ・地域の活性化に向けて課題解決に粘り強く取り組む力
- ・相手や目的に応じて手段を選択し、分かりやすく表現する力
- ・友達と協働して取り組み、対話を通して見方・考え方を広げながら、解決する力

ミッション：天橋立を中心とした文化的景観の魅力をより多くの人に知ってもらうにはどうすればよいでしょうか。

小単元	小単元1 文化財の歴史や現状、文化財に関わる方の思いや願いを調査しよう(25)	小単元2 文化的景観の魅力をより多くの人に知ってもらうために、自分たちができることを考えよう(30)	小単元3 子ども大使として地域の魅力を発信し、自分たちが住んでいる地域のよさについて考えよう(15)
ねらい・学習活動	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雪舟の「天橋立図」や「成相寺参詣曼荼羅」から、「府中」はかつて中心の町だったことに気付く。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 府中地域の文化財を見学し、文化財に関わる方に話を聞く。 ・丹後郷土資料館「天橋立図」「国分寺跡」 ・成相寺 ・安国寺遺跡 <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 調べて分かったことについて、思考ツール(ウェビング図)を使って整理し、現状や課題、目指すゴールについて明らかにする。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動を振り返りカードにまとめる。 ○ 自分たちの学びを地域の高校生に伝え、文化財の歴史や現状、文化財に関わる方の思いや願いの理解を深める。 	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 天橋立の文化的景観の魅力を多くの人に知ってもらうために、課題解決に向けて見通しをもつ。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ お寺や神社を見学したり文化財に関わる方にインタビューしたりして、文化財の魅力を知る。 ○ 文化財に関わる方と課題を共有する。 ・籠神社・大谷寺・国分寺 ○ 図書やICTを使って文化財について調べる。 <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ どんな魅力を伝えるのか調べたことを思考ツール(ランキング表)を使って整理する。 ○ 効果的に発信するための条件をしぼる。(魅力が伝わり、インパクトのある方法は・ターゲットは誰か・実現可能か) ○ 地域を活性化させるための課題解決策を思考ツール(ピラミッド)を使って考える。 ○ 考えた取組をプレゼンするために、何をどう理由で行うのか具体的に考える。 <p>【検証】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今までお世話になった方に取組について助言をいただき、自分たちの考えが実現可能か確かめる。 ○ その助言を踏まえ、発信内容や発信方法について再検討する。 <p>【アウトプット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化的景観としてより多くの人に知ってもらえるように、取組を実践する。(リーフレット・観光ガイド等) 	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの活動を振り返り、まとめることを通して、府中地域のよさについて考えたことを発信する見通しをもつ。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 文化財に関わる方を対象に、課題解決に向けて実践してきたことを報告し、実践後の状況についての情報や意見をもらう。 <p>【整理・分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自身の地域に対する思いの変容や自己の成長を振り返る。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題解決に向けて実践してきたことや振り返ったことをまとめる。(パワーポイント・ワークシート等) ○ まとめたことを保護者(地域住民)に伝える。
知	・府中地域に存在する貴重な文化財のよさや文化財に関わる方の思いや願いを理解している。	・活動を通して調べたり、考えたりしたことについて、相手意識や目的意識を明確にしながらか、まとめる方法が分かっている。	・府中地域を活性化したいという自分たちの思いの変容は、文化財や文化財に関わる方の思いについて探究的に学んだことによる成果であると気付いている。
思	・府中地域の方から話を聞いたり、見学したりすることを通して課題を見出すことができる。	・課題解決の見通しをもち、図書の利用やICTの活用など、様々な手法で必要な情報を探したり見つけたりする。	・伝える相手や目的に応じて自分の考えをまとめ、分かりやすく表現することができる。
態		・思考ツール等を用いて、集めた情報を整理し、課題解決に必要な情報を取捨選択するとともに、自分なりの考えを説明する。	・地域との関わりの中で、自分たちにできることを見付け、実践に移そうとする。

府中地域の文化財に関する図書

天橋立に関する図書

インターネット

図書館教育との関わり

まとめ方・発表の仕方に関する図書

天橋立の文化的景観調べを通して・・・

身近な文化財である天橋立やそこに生きる人々の生活や産業から学び、歴史と伝統から課題を見つけ、調べ、グループ等で主体的・対話的に課題を解決していくことで、興味をもちながら思考力・判断力・表現力を高める。

調べた文化財・連携した文化財所有者等

* 天橋立の文化的景観

籠神社・天橋立図・成相寺参詣曼荼羅・成相寺・国分寺・大谷寺・安国寺遺跡

1年生	溝尻漁協 丹後海陸交通
2年生	天橋立府中観光会 丹後海陸交通
3年生	籠神社
4年生	京都府丹後土木事務所
5年生	京都府立丹後郷土資料館 溝尻漁協 中山間農家組合 天橋立府中観光会
6年生	籠神社 大谷寺 成相寺 国分寺 国分寺跡 安国寺遺跡 天橋立図 京都府立丹後郷土資料館

令和4年度(2年次)成果と課題

成果

- 現状や地域の方の思いや願いを調査して課題を発見し、自分たちの「こうありたい」という目標をもちながら活動することで、児童が主体的に課題を解決していくことができた。
- 地域の方と継続的な繋がりをもつことで、自分たちの活動が地域の方の願いと同じであることを感じ、学習の価値を実感しながら府中地域の良さについて自己の考えを広げ、地域に貢献していきたいという気持ちを高めることができた。
- 考えて終わりではなく、実践していくことで、児童の達成感や充実感、「もっとこうしよう。」という次への意欲に繋がった。また、協働的に活動する中で、理由を明確にして話をしたり、納得ができるようにまとめたりする話し合いができることが増えた。

課題

- 課題に対して粘り強く取り組む力、伝える相手に応じて自分の考えを分かりやすく表現する力をはぐくんでいくために、学んだことをもとに、児童が「知りたい。」「もっと深めたい。」という思いをもち、相手や目的を明確にして、表現することができる力を付ける。
- 他の教科との関連を図り、どの教科のどんな内容を生かしていくのか、総合的な学習の時間で培った力を他の教科でどのように活用・発揮していくのかを考え、汎用的な資質・能力の向上を図っていく。
- 意図的・計画的な実践にするために、付けたい力を明確にし、見通しをもちながら活動をしていく。

令和5年度(3年次)に向けて

- 府中地域だけでなく、更に広く多方面に発信することを目指し、地域をより活性化するために貢献できる取組とする。また、多様な発信方法を追求し、充実感のある取組にしていく。

宮津市立府中小学校

〒629-2232 京都府宮津市字中野468

電話番号 0772-27-0027

府中小学校 HP アドレス

<https://www.kyoto-be.ne.jp/futyuu-es/cms/>

